

1 再編計画について

●計画の目的

本市では、高度経済成長期とその後の10年間を中心に整備してきた施設等の老朽化の進行に伴い、多額の改修・更新費用が必要となることが見込まれたことから、2016年3月に高岡市公共施設等総合管理計画を策定したところです。管理計画の中では、公共施設マネジメントの基本方針を「施設総量の適正化」「長寿命化の推進」「施設の有効活用」と定め、2018年3月には、高岡市公共施設再編計画を策定し、公共施設の再編に取り組んできました。

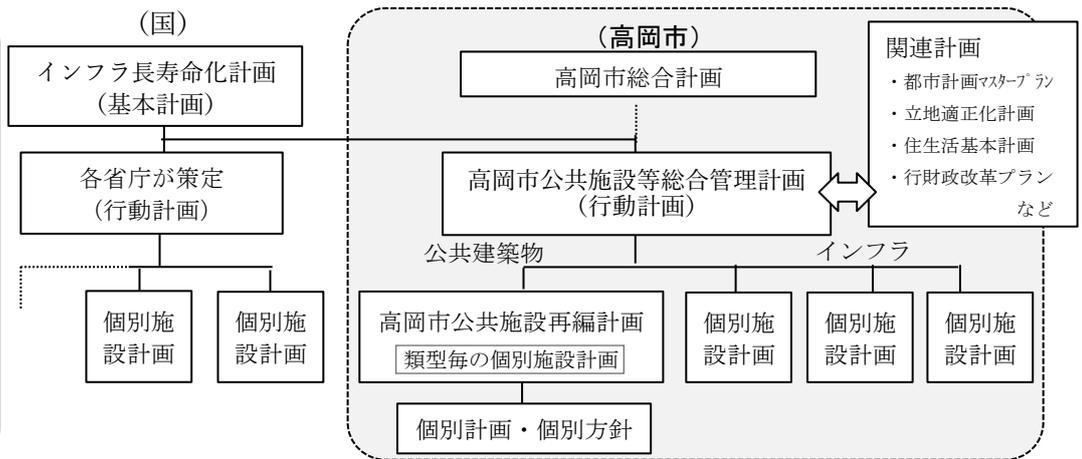
本市の施設の多くが築40年以上となる中、類似する機能を有する一定の施設群について、個別計画・個別方針を新たに策定する等、これまで以上に計画的な施設再編を進めるため、計画を改定します。

また、合理的な施設管理手法の検討や再編後の跡地等の有効活用にも取り組んでいきます。

●計画の位置付け

再編計画は、管理計画のもと、公共施設の再編に取り組むため、個々の施設の方向性を示す計画です。

必要に応じて、個々の取組みについて、より具体的な考え方や進め方などを定めた個別計画や個別方針を定めます。



●計画期間

2018年度から2035年度を計画期間とし、2023年度以降の期間を右図のとおり、IからIIIに区分します。

短期
(2018-2022年度)

I (2023~2027年度)

II (2023~2032年度)

III (2023~2035年度)

●計画改定までの流れ

2016.3	管理計画の策定
2017.12	公共施設白書の策定
2017.3	数値目標の設定
2017.6.1~6.30	市民アンケート
2017.8.31	第1回委員会(諮問)
2017.11.24	第2回委員会(計画素案)
2017.12.1	懇話会(計画素案)
2017.12.5~12.25	パブリックコメント
2018.1.15~1.29	市民説明会(市内5か所)
2018.2.22	第3回委員会(計画案)
2018.2.26	懇話会(計画案)
2018.3	答申・策定
2022.7	懇話会(見直しについての考え方)
2022.11	懇話会(見直し方針)
2022.12.21~1.20	パブリックコメント
2023.2	懇話会(見直し案)
2023.3	計画改定

●計画の対象施設(2023.4.1時点)

大分類	中分類	施設	施設数
市民文化系施設	集会施設	コミュニティセンター	3
	文化施設	ふくおか総合文化センター、文化芸能館など	6
社会教育系施設	図書館	戸出図書館	1
	博物館等	美術館、博物館など	16
スポーツ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	グラウンドゴルフ場、西明寺パークゴルフ場など	8
産業系施設	産業系施設	職業訓練センター、農業センターなど	9
学校教育系施設	その他教育系施設	教育センター、石瀬共同調理場	2
子育て支援施設	幼児・児童施設	児童館、児童センターなど	13
福祉・保健施設	障害者福祉施設・保健施設	ふれあい福祉センター、保健センターなど	4
医療施設	医療施設	急患医療センター	1
行政系施設	庁舎等	本庁舎、福岡支所など	3
	消防施設	消防署、出張所など	46
	その他行政系施設	防災センター、小矢部川下流水防倉庫 など	5
公園内施設	公園内施設	動物園等(高岡古城公園)、トイレ、休憩所など	37
処理施設	処理施設	ストックヤード、埋立処分場など	6
その他施設	その他施設	二上霊苑、高岡斎場、市営駐車場など	42
合計			総延床面積 194,016.56㎡ 202施設

●個別計画・個別方針に沿って再編を進める施設群(2023.4.1時点)

大分類	中分類	施設	施設数
市民文化系施設	集会施設	公民館	36
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	市民体育館、竹平記念体育館、前田庭球場(管理棟)、トレーニングセンター(4)など	15
学校教育系施設	学校	小学校、中学校など	36
子育て支援施設	保育園・認定こども園	保育園、認定こども園	13
公営住宅	公営住宅	市営住宅、特定公共賃貸住宅など	16
合計			総延床面積 418,409.36㎡ 116施設

3 個別施設の今後の方向性

個別計画等を策定済（市立学校、公民館、公営住宅）及び策定予定（スポーツ施設、保育園・認定こども園）の施設群を除きます。

方向性		I (2023-2027年度)			II (2023-2032年度)			III (2023-2035年度) 実施期間未定を含む			合計	
		施設数	延床面積 (㎡)	施設	施設数	延床面積 (㎡)	施設	施設数	延床面積 (㎡)	施設	施設数	延床面積 (㎡)
譲与	施設を無償で譲り渡すこと				2	36.57	戸出北分団積載車置場、北般若分団積載車置場				2	36.57
譲渡	施設を有償又は無償で譲り渡すこと	2	399.42	福岡ふれあい交流センター、まちづくり福岡工房							2	399.42
民営化・譲渡(貸付)	事業を民間に譲渡すること										0	0.00
廃止	施設を廃止(使用不可の状態)にすること	2	759.93	島田邸、創業者支援センター	11	3,250.62	文化芸能館、勤労者余暇活用センター、公園トイレ等(9)				13	4,010.55
一部廃止・機能縮小	施設の一部を廃止すること又は一部機能を廃止すること	1	756.67	ふれあい福祉センター(体育館)							1	756.67
集約化	同種の施設を統合し、一体の施設として整備すること又は既存施設に集約すること							1	1,905.21	博物館	1	1,905.21
複合化	異種の施設を統合し、一体の施設として整備すること又は既存施設に集約すること				1	300.69	野村児童センター				1	300.69
小計(A)		5	1,916.02		14	3,587.88		1	1,905.21		20	7,409.11
耐震化	施設を耐震補強すること							1	2,722.21	職員棟・車庫棟(環境政策課)	1	2,722.21
増築・改築	施設を増築・改築すること										0	0.00
更新	施設を建替えること	1	3,626.16	消防本部・高岡消防署				40	28,252.11	御車山収蔵庫、本庁舎、分団置場等(22)、山町筋重要伝統的建造物群保存地区防災施設、公園内施設(10)、旧福岡最終処分場、高岡駅南自転車専用駐車場、公共トイレ(2)、スクールバス車庫	41	31,838.27
利用促進・コスト削減	サービス内容の見直し等により、特に利用促進・コスト削減に努めること	五位山交流館、美術館、ミュゼふくおかカメラ館、万葉歴史館、福岡歴史民俗資料館、福岡鯉の里公園資料館、福岡観光物産館、里山交流センター									8	15,975.02
利用促進	サービス内容の見直し等により、特に利用促進に努めること	銅物資料館、武田家住宅、御車山会館収蔵庫、伏木北前船資料館、土蔵造りのまち資料館、伏木気象資料館、グラウンドゴルフ場、西明寺パークゴルフ場、福岡屋内多目的広場、児童センター(2)、福岡防災センター、米島口自転車駐車場、新高岡駅立体駐車場									14	14,924.38
コスト削減	サービス内容の見直し等により、特にコスト削減に努めること	コミュニティセンター(3)、ふくおか総合文化センター、生涯学習センター、御車山会館、両晴マリーナ、デザイン・工芸センター、農業センター、教育センター、きずな、保健センター、伏木消、戸出消、福岡消、牧野出張所、南部出張所、おとぎの森、公園トイレ(4)、埋立処分場、し尿処理施設、池田排水機場、高岡斎場									26	57,400.71
維持	現状維持又は既存施設の活用等により機能を移転すること	福岡にぎわい交流館、戸出図書館、埋蔵文化財センター、道の駅(2)、新高岡駅観光交流センター、職業訓練センター、福岡さくら会館、金屋鋳物師町交流館、石瀬共同調理場、伏木児童館、放課後児童育成クラブ(9)、福岡健康福祉センター、急患医療センター、福岡支所、分団置場等(16)、高岡市防災センター、水防倉庫(2)、公園トイレ等(13)、ストックヤード、守山排水機場、二上霊苑、自転車駐車場(12)、駐車場(3)、公共トイレ(9)、公営バス車庫(2)、公営バス待合所、バス停上屋(2)、福岡イベント用資材倉庫(2)、休憩施設(3)、(ふれあい福祉センター体育館以外※面積のみカウント)									92	63,746.86
小計(B)		1	3,626.16		0	0.00		41	30,974.32		182	186,607.45
合計(小計(A)+B)		6	5,542.18		14	3,587.88		42	32,879.53		202	194,016.56

・2023年度以降の計画期間中に削減される床面積は、合計20施設、延床面積は7,409.11㎡です。(個別計画等に沿って再編を進める施設群を除く)

●再編による削減効果額

・2018年度から2022年度までの取組みと2023年度以降の取組みによる削減効果額は、更新費用が233.2億円、管理費用が117.7億円です。(個別計画で削減される床面積を定めている公営住宅分を含みます。)

(単位：億円)

	短期 (2018-2022)	区分Ⅰ (2023-2027)	区分Ⅱ (2023-2032)	区分Ⅲ (2023-2035)	合計
更新費用の削減効果額	169.6	45.5	13.8	4.3	233.2
管理費用の削減効果額	23.3	37.1	35.5	21.8	117.7

※更新費用(建替え、大規模改修)の削減効果額は計画期間中の合計額(集約化等による新施設整備は含まない)
 ※管理費用の削減効果額は取組みを完了した翌年度からの各区分における累計額(人件費含む)

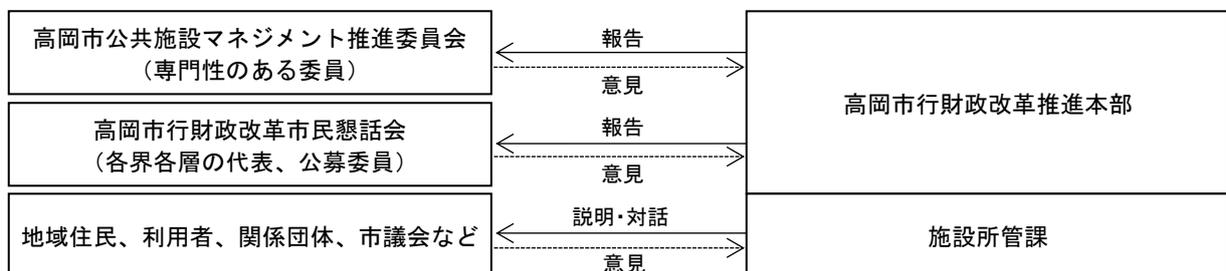
4 計画の推進

●計画の推進にあたってのポイント

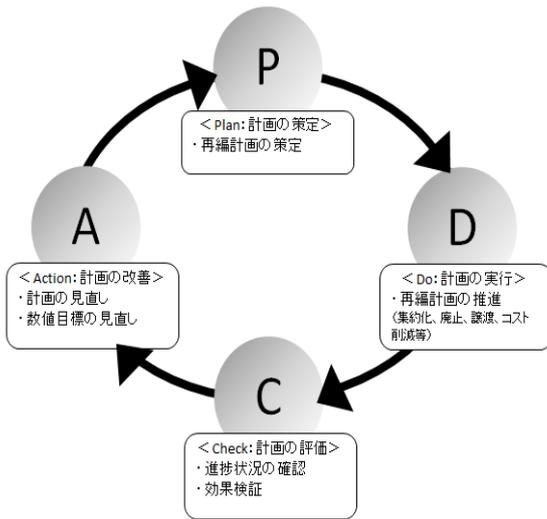
- ・地域住民や関係団体などと十分協議しながら進めます。
- ・地域住民や関係団体などから譲渡の申し出があった場合は、方向性の見直しも検討します。
- ・集約化、複合化、更新などを行う際には、民間活力の活用を検討し、サービスの向上、経費の縮減に努めます。
- ・指定管理者制度を導入している施設については、指定期間の満了時をタイミングとして取組みを進めます。ただし、指定管理者の合意が得られたものについては、前倒しで実施します。
- ・避難場所として指定されている施設を廃止する場合は、代替となる避難場所の確保に努めます。

●計画の推進体制

再編計画については、市長を本部長とする行財政改革推進本部のもと、高岡市公共施設マネジメント推進委員会や高岡市行財政改革市民懇話会から随時ご意見をいただき、組織横断的に協議・調整を図りながら推進します。公共施設の再編は、行政だけでなく、地域住民、利用者、関係団体、市議会など多様な主体のご理解とご協力が不可欠であり、再編によるメリットや効果なども含めて、積極的に説明・対話を行いながら取り組んでいきます。



●計画の進行管理・見直し



再編計画を着実に推進していくためには、PDCA サイクルを基本に進行管理を行い、成果、課題などを把握することにより、今後の取組みに活かしていきます。

また、社会情勢や法令・国の施策等の推進状況、各施設を取り巻く環境の変化などにより、PDCA サイクルの各段階において見直しの必要が生じた場合には、柔軟に計画を見直します。

●管理手法の検討及び再編後の跡地等の有効活用の推進

・維持管理手法の検討

機能を維持していく施設等については、施設の運営効率を高める再編計画の考え方と整合の取れた合理的な施設管理を行うため、維持管理業務の包括委託の導入について検討を進めます。

・施設再編により生じる跡地及び建物等に係る活用方針

施設再編により生じる跡地及び建物等については、公用または公共用に活用するものを除き、民間活力による有効活用を図るため、民間事業者からの利活用に関する意見聴取（サウンディング）などの実施を原則としながら、対応を進めます。

○基本的な考え方

- ・当初の設置目的を果たした施設等のその後の利活用について、全庁的な検討を経て、方向性を定めます。
- ・公用または公共用に活用するものを除き、原則、民間活力による有効活用を図ります。
- ・廃止又は集約化等により生じた旧施設の解体については財政状況を踏まえて実施します。